

抗体検査を受けましょう！

2018年、3月～麻しんの発生、5月～風しんの発生が報告され、話題になりました。さらに今年の4月からは30代から50代の男性を対象に“第5期”のワクチン接種が受けられることとなり、現在日本では麻しん風しんの排除の達成・維持することへの取り組みが強化されています。

..... 麻しん、風しんにかかったらどうなるの？

発熱や風邪症状、発疹などの症状が現れます。

麻しんは肺炎や脳炎、風しんは血小板減少性紅斑病や急性脳炎などの合併症になることがあり、なかでも妊娠初期の妊婦が感染すると**先天性風しん症候群**という障害をもった児が生まれる可能性があります。

先天性風しん症候群とは、風しんに対して免疫が不十分な女性が妊娠20週までの間に感染した場合に生まれてくる赤ちゃんに引き起こされる障害です。

先天性心疾患、難聴、白内障が三特徴であり、その他にも発育・精神発達遅滞や糖尿病など様々な障害があります。

医療法人 KLC ファミリーランドクリニック南大高

抗体検査を受けましょう！

麻しん風しんは空気感染、飛沫感染、接触感染でうつります。感染力が非常に強いので、感染を予防するにはワクチンを接種することが有効となっています。

(当院では麻しん風しん混合ワクチンを使用しています。)

ワクチンを1回接種することによって、95%以上の人が麻しん風しんウイルスに対する免疫を獲得することが出来ます。

ですが、ワクチンによる免疫の持続期間は10年程度と言われているため、小さい頃に打ったことがある方も一度抗体検査をする事をおすすめします。

麻しん風しんのり患歴や予防接種歴が明らかでない場合でも抗体検査を受け、抗体が不十分であればワクチンを接種しましょう！

ご不明な点がございましたらお気軽にご相談下さい。

医療法人 KLC ファミリーランドクリニック南大高